

## 奥日光スノーシュー・金精沢

【山行日】 2017年3月4日(土)天候 晴

【集合】 道の駅しもつけ 7:00

【メンバー】 CL:仙石、島田、高崎、清水ケ

## 【コースタイム】

道の駅しもつけ7:00＝湯元ビジターセンター前駐車場8:30～9:00～9:15――

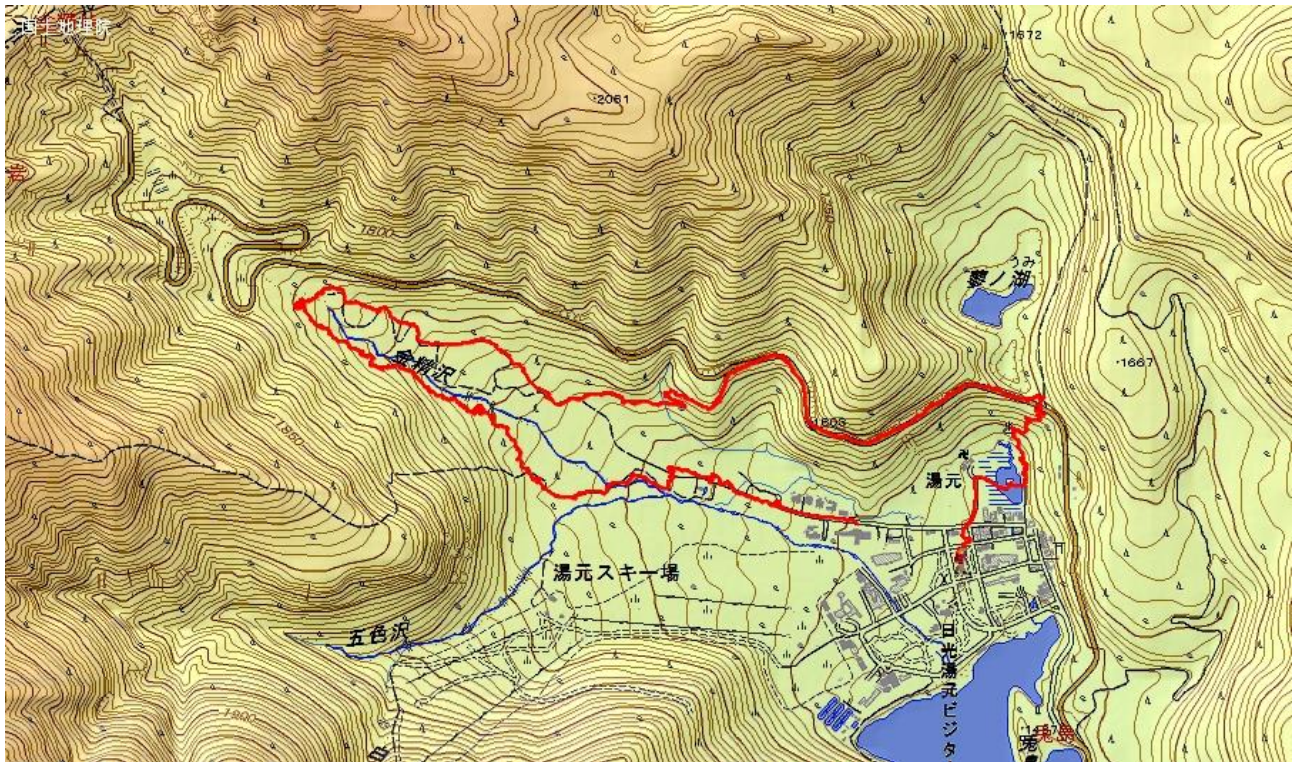
林道スノーシュー付ける9:40――中曽根分岐10:10――金精道路への合流手前11:20～12:05

――シャクナゲコースへの分岐No. 8 12:35――金精道路12:50――切り込み湖入口13:25

――湯元バス停13:50～14:00旅館やまびこにて温泉14:30＝しもつけ道の駅16:00

## 【山行記録】

当初の計画では刈込湖までの往復でしたが、行ったことのない金精沢コースもビジターセンターで整備しているとのことで、こちらに行ってみることにした。



湯元のバス停からしばらくはホテルがある道を歩くが、しばらく行くと雪道になる。スノーシューを付けて林の雪の中へと足を踏み入れる。踏み跡も結構有り、また、ビジターセンターで付けた赤布も所要所に着いており、私たちが導いてくれる。中曽根へ向かう分岐を見失わないように注意して進む。道しるべの頭が出ていて赤布が導いてくれる。まっすぐ行っちゃうと帰り道に合流してしまう。

マザーツリー??と思われるダケカンバの大木が青空に手足を大きく広げている。その太いささくれた幹に抱きつきたくなる。そして青空に吸い込まれてゆく。

左手の中曽根の急斜面からは、ところどころから雪のブロックが落ちてきた痕跡が認められる。今日の雪の状態だったら、落ちてくることは無いと思うけど、金精沢側によって登ってゆく。先行するお二人が近づいたり、遠くなったり。スノーシューを滑らせてゆく。正面の木々の奥に真っ白なドーム、金精山の白い岩峰が見えてきた。やがて、金精道路が金精沢を横切る場所の手前の台地に着く。大きなダケカンバの下でランチタイムとした。



マザーツリー?? 青空に手足を広げている



中曽根への分岐を確認



真っ白な金精山を正面に登ってゆく



ここまで登ってきた。さあランチタイム



さあ、下山、緩やかに下ってゆきます



石楠花台コースの分岐 No. 8

ゆっくりとひとときを過ごし下山。その昔の峠道らしい。林の中をくねくねと曲がって下ってゆくが、まっすぐに電線沿いにみんな下っている。この方がよっぽど楽で早い。コース番号⑧から石楠花台コースから雪の金精道路に上がることにする。金精道路の南側の斜面をず〜っとトラバースして金精道路に這い上がる。あとはユツタリと雪の金精道路を下ってゆけば、切込刈込湖ハイキングコースの入口に出る。ここから湯元に急降下、源泉の脇を通過して駐車場。旅館やまびこで温泉に浸かり終了です。今回のスノーシューはユツタリ、ゆっくりお楽しみでした。



金精道路に這い上がりました



雪の金精道路です



湯元、湯の湖、戦場ヶ原、男体山を望みます



湯元の泉源につきました

(記録: 仙石)